

JR利用促進・見直し問題

JR西日本米子支社長と東部沿線自治体首長との会談

JR側からの乗車密度2千人未満の区間に係る考え方について説明したいという申し入れを受け、今後の議論の進め方について意見交換を行う

日時 7/11 (月) 10:00～10:30

場所 鳥取商工会議所会議室

出席者 (JR西日本) 佐伯米子支社長、和田副支社長

(自治体) 深澤鳥取市長、長戸岩美町長、金兒智頭町長、他東部自治体
平井鳥取県知事

夏休み公共交通利用促進キャンペーン

7/16～スタート

▼「絵日記で伝えよう ぼくわたしの列車・バスの思い出」(小学生絵日記コンテスト)

専用の応募用紙で「この夏に列車やバスに乗った思い出」を絵日記につづり、郵送してくれた子どもたちに、抽選で150名に「図書カード」をプレゼント！！

▼「列車とバスの好きな風景見つけた！SNSフォトコンテスト」

Instagramに投稿した鉄道・バスの魅力ある写真の中から、優秀作品には県の特産品をプレゼント！！

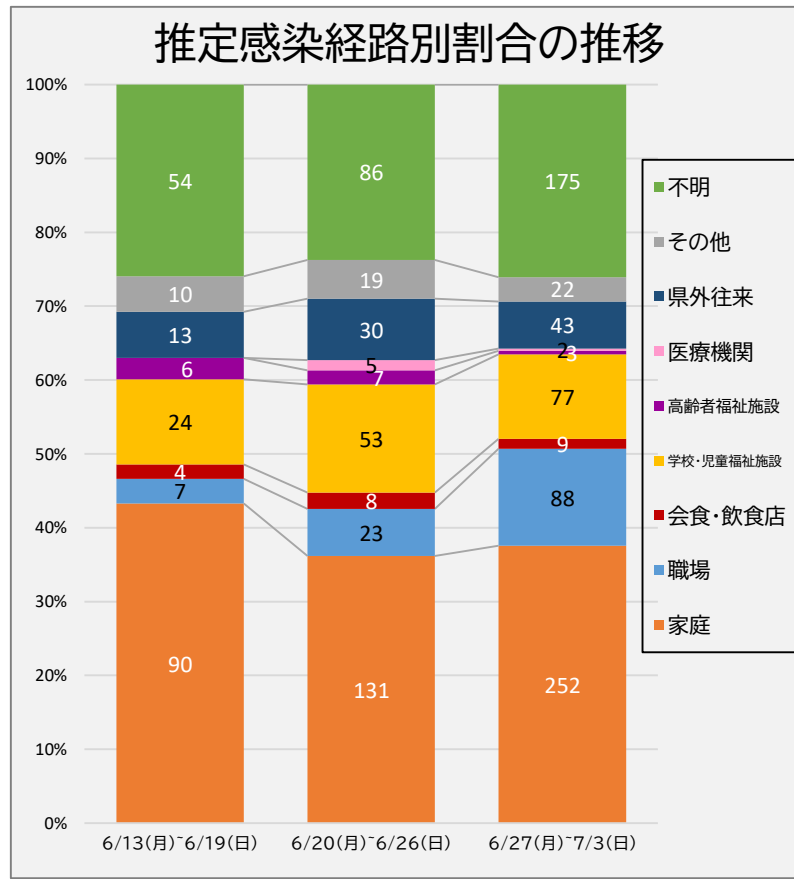
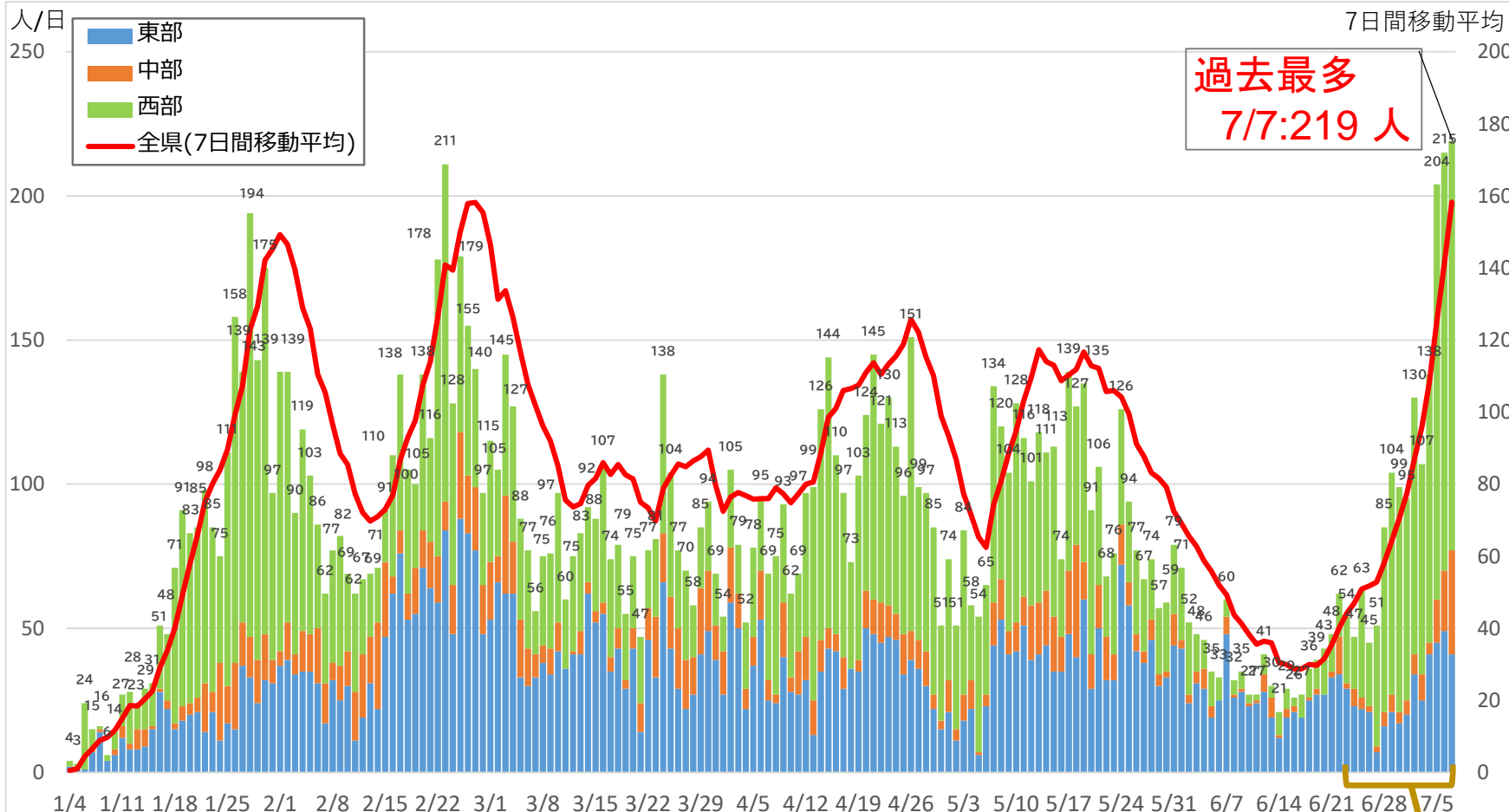
※7/14開催の「みんなが乗りたくなる公共交通利用促進協議会」で利用促進を協議

列車とバスの
好きな風景見つけた！
**SNSコオト
コンテスト**

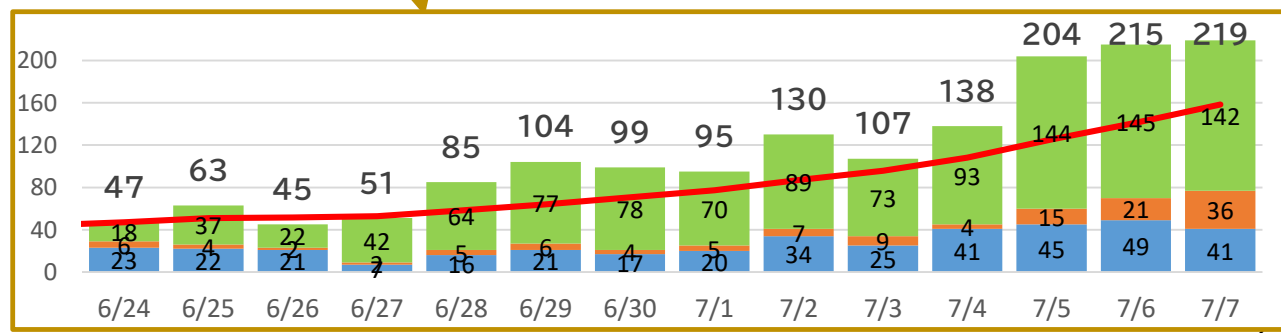



新規陽性者数の推移

【公表日ベース】



西部	鳥取県版新型コロナ警報「注意報」	7/7発令
中部	感染拡大注意情報	7/7発令
東部	感染拡大注意情報	5/26~
西部	感染拡大警戒情報	7/4~



オミクロン株の新系統

○オミクロン株「BA.5系統」「BA.4系統」ゲノム解析結果

- ・6月下旬 「BA.5系統」13件(東部3件・西部10件)、「BA.4系統」1件(東部)
- ・6月中～下旬 「BA.2.12.1系統」13件(東部)

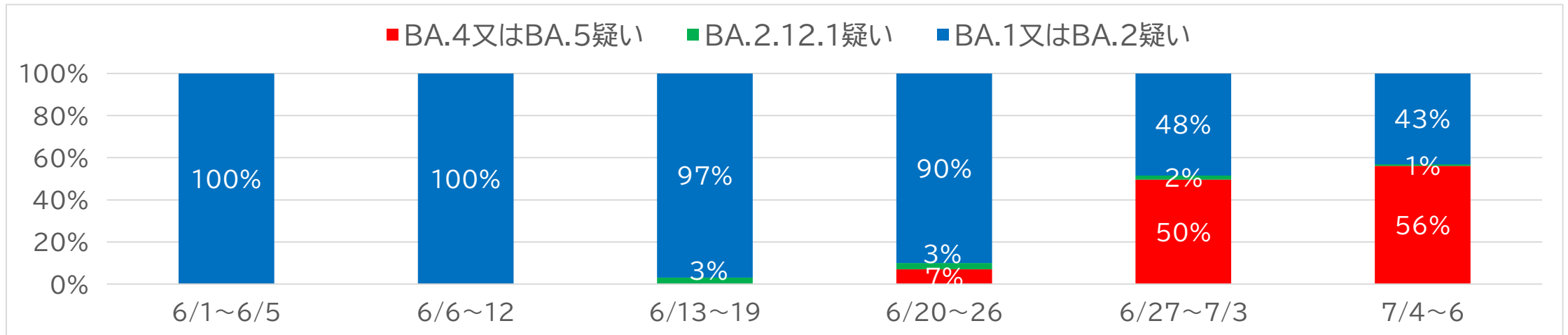
○「BA.5系統」の状況

- ・ゲノム解析では、島根県と一致するものもあるが、その他のものも検出
- ・疫学調査では、海外も含め、広く他地域からの流入がみられ、県内においても市中での連鎖がみられる

○直近(7/4-6)は、56%が「BA.4又はBA.5系統疑い」(変異株スクリーニング検査)

【西部の推移】 40%(6/20-26)→75%(6/27-7/3)→83%(7/4-6)

<変異株スクリーニング検査の推移>



BA.5・第7波特別対策プロジェクト

今こそ感染予防をレベルアップ！

Point 1 予防

- 基本的な感染予防対策の徹底
 - 飛沫を意識したメリハリのあるマスク着用
 - エアロゾル感染を防ぐため、定期的に窓開け換気
 - 飛沫が付着しやすい共用物(例:電話機等)は、使用後に必ず消毒
 - 体調が悪ければ、登校・出勤せず、すぐに医療機関を受診
- ワクチン接種の更なる推進による発症予防・重症化予防

Point 2 検査

- 検査対象を拡大し、市町村の協力も得て幅広く囲い込み、早期封じ込めと感染拡大を防止

Point 3 医療

- 全入院協力医療機関と病床確保に関する協定を締結へ
- 西部地区の宿泊療養施設の追加確保を調整中
- 島根県との県域を越えた入院連携準備
- 市町村や看護協会の協力も得て、急増する在宅療養者の健康サポート体制の強化

保健所

- コロナ対応総括
- 感染拡大防止と療養サポート
- 濃厚接触者の囲い込み
- クラスター対策チーム
- 事業所の囲い込み
- 感染拡大防止特命チーム
- 学校・福祉施設等の囲い込み

連携

BA.5・第7波特別対策調整本部

- 《本部長》副知事
- 《構成員》総務部・商工労働部・観光交流局等
- 《役割》
 - 保健所と市町村との検査調整
 - 市町村との情報共有

連携

市町村

- 地域の実情に即した幅広い受検勧奨
- 在宅療養サポート

連携

県看護協会

- 受診相談センター
- 在宅療養者の健康観察

連携

主な施設における感染予防対策のポイント

	特徴的なポイント	共通のポイント
学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ エアコン使用時でも常時窓、ドアを開けて空気の流れを確保、授業中に数分間の窓開け換気 ○ 部活動で共用する道具の消毒、使用した際の手洗いの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日々の健康管理の徹底 ○ 体調不良の場合は、登園・登校・出勤は控え、速やかに医療機関を受診 ○ 共用物(電話、ドアノブ、コピー機、スイッチ等)の定期的な消毒 ○ 定期的な換気、空気の流れを意識した換気 ○ 県外往来した場合、感染不安がある場合の無料のPCR検査等の受検
保育所・幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ○ おもちゃ、絵本等頻繁に触る物、箇所の消毒 ○ 食事、歯磨きなど飛沫が発生しやすい活動の後の机、手洗い場、蛇口等の消毒 	
社会福祉施設・医療機関	<ul style="list-style-type: none"> ○ 患者、利用者がマスクできない場面での職員のマスク、ゴーグルの着用 ○ 発熱症状のある方への利用を控える呼びかけ 	
職場	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飛沫が付着しやすい電話機やマイクの使用後の消毒の徹底 ○ 交代勤務、分散勤務、テレワーク等の活用 	
飲食店	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冷房中でも換気を徹底 ○ トイレ、手洗い等共有部分の消毒、拭き取りの徹底 ○ ディスタンスを確保 	



かんきをしよう



しょうどくしよう

産業・観光支援

①コンテンツビジネス研究会スタート

本県コンテンツビジネスの振興に向け、県内企業と今後の課題や必要な取組等について具体的に検討

■キックオフ会議：7月21日（木）【出席者】コンテンツクリエイター 赤井 孝美氏 ほか

⇒ 今後、随時研究会を開催し、新たなビジネスの創出や人材育成等を目指す

②スーパー工業士による人材育成へ募集開始

AIなどデジタル技術を学び、生産現場の高度化など「新しいものづくり」を実践できる次世代人材「スーパー工業士」を育成

〈スーパー工業士への支援〉資格取得費の助成、鳥取大学工学部との連携によるキャリア形成

■ 募集期間：令和4年7月12日（火）～9月9日（金）

■ 対象者：県内工業系高等学校 2年生 ■ 募集方法：学校推薦（初認定：令和5年8月見込み）

③「#WeLove山陰キャンペーン」「スペシャル・ウェルカニキャンペーン」の延長

■ 対象期間：令和4年7月31日（日）まで

クーポン券の利用可能期間：令和4年8月1日（月）まで

■ 対象者：中四国各県、兵庫県 在住者

④巨人-広島戦「とっとりデー」開催

7月16日（土）に東京ドームで開催される巨人-広島戦(14時プレイボール)を「とっとりデー」として協賛

■ 概要：試合前セレモニーで両チームへ特産品（鳥取和牛）を贈呈！

球場の大型ビジョンやサインージで、県のPR動画等を放映！ 等

⑤谷口ジロー作品をフランスでアニメ映画化 「神々の山嶺（いただき）」

夢枕獏氏原作のベストセラー小説を谷口ジロー先生が漫画化した傑作「神々の山嶺」が、フランスでアニメ映画化され、全国で凱旋上映されます。

■ 全国公開：7月8日（金）～ / 東京・新宿ピカデリーほか（仏映画プロデューサー・ジャン＝シャルル・オストロ氏来日）

■ 県内上映：8月11日 / 鳥取市民会館大ホール 8月26日～9月15日 / 倉吉シネマエポック 7月22日～29日 / MOVIX日吉津

株式会社日新の火災からの復旧に向けて

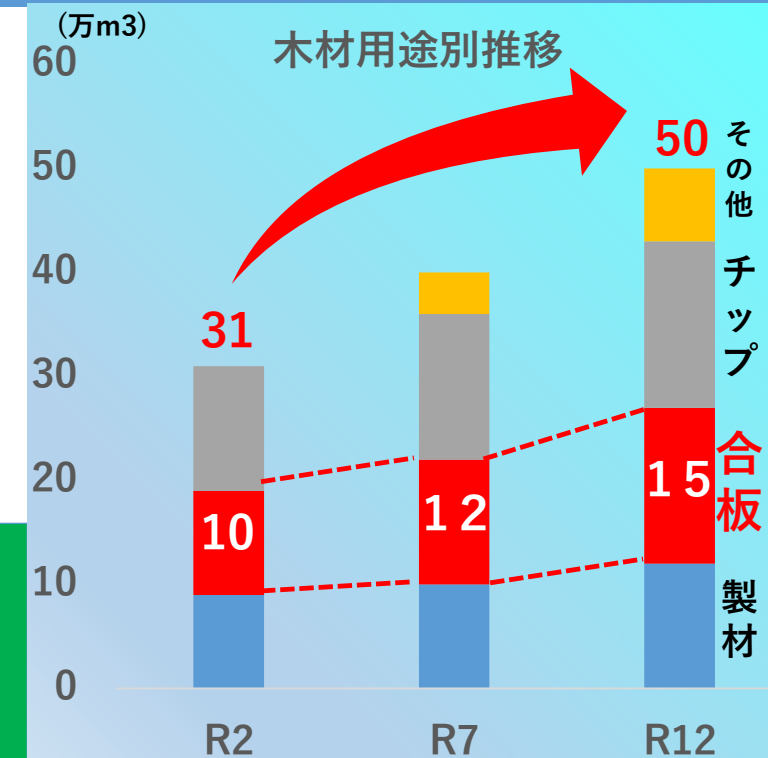
- ウッドショックやロシアからのカラマツ単板の輸出入禁止による国内合板の品薄
- 火災により甚大な被害を受けた県内合板工場((株)日新)の早期再開を支援
 - ➔ 外材から県産材への転換実現に向けた着実な体制整備

■ 県内への影響

- 県産木材の約 2 割を消費 ・ B材の約 55%を消費
- ⇒ 原木の一時受け入れ停止で、木材生産の停滞発生

■ 全国への影響

- 針葉樹合板の国内シェア 約 2 割
- 長尺合板（長さ 2.4 m 超）の汎用度が高く、住宅会社から高評価



<復旧に向けた鳥取県の支援策>

- 火災を乗り越え更なる生産能力向上を図る設備投資を支援
 - ⇒ 国へ助成制度活用を働きかけるとともに、県の単独事業も適用
 - ※ 7月14日に国への要請活動を実施
- 県産材の利活用や外材から県産材への転換に向けた関係者の連携支援

- 県産材の生産力アップ
- 安定供給

「鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会」の 最終結果を受けて

7月2日(土) 第9回地下水等調査会(最終結果とりまとめ)

- ・「福井水源地」への影響となるような懸念材料はない
- ・「三輪山の清水」へ影響を及ぼす可能性は極めて低い

現在の世界の最先端の知識、英知を駆使して得られた結果であり、非常に信頼度の高いデータが得られた。

⇒地元住民へ、専門的な内容をかみ砕いて分かりやすく説明

順次 関係6自治会に調査結果を個別説明

7月18日(祝) 県民向け説明会 場所：さなめホール(米子市)、とりぎん文化会館(映像配信)

※7月下旬(予定) 環境管理事業センター理事会

⇒センターの決定を踏まえ、県とセンターで今後の方針を協議

きこえない・きこえにくい子どものサポートセンター『きき』の開設

当事者団体が運営を行うのは全国初（鳥取県聴覚障害者協会へ委託）

⇒ 支援員に「ろう当事者(ピア支援)」、「聴覚障がい児の子育て経験者(メンター支援)」、「手話通訳者」を配置し、支援員がロールモデルとなりながら、親子・家族の豊かなコミュニケーションと子育てをサポートできる体制を構築。

関係機関とのネットワークを構築し、連携した支援に早期に繋げるとともに、成長の選択肢をご紹介します。

開設日(開所式)	業務内容	人員体制
令和4年7月12日(火)	①相談支援、情報提供 ②ロールモデルの提示、親同士の交流 ③巡回相談、研修案内等による支援 ④協議会の設置による連携強化	○所長1名 ○事務1名 ○コーディネーター1名 ○支援員3名(ピア支援、手話通訳)

2025夏季デフリンピック応援宣言

全日本ろうあ連盟が招致を進める2025夏季デフリンピック東京大会を鳥取県として応援。

全日本ろうあ連盟 石野理事長立会の下宣言（7月12日(火)、場所：鳥取県庁）

＜応援宣言の内容＞

- 招致に向けての応援
- 招致決定後の大会成功に向けた取組
 - ・選手キャンプ地設置への協力
 - ・大会運営のための人員等の応援

※今年9月にオーストリアで開催される国際ろう者スポーツ委員会の総会で開催地を決定予定。

とっとりエコライフキャンペーン・ 鳥取ブルーカーボンプロジェクトのスタート

【とっとりエコライフキャンペーン】 7月7日～来年1月31日

家庭でエコライフにチャレンジ、WEB、SNS等で応募した方の中から抽選で協賛企業が提供する景品等が当たるキャンペーン

(具体的な取組例)

- ・ <省エネ実践チャレンジ> WEB版の環境家計簿を活用した省エネ実践
- ・ <省エネ家電買い替えチャレンジ> 省エネ家電(冷蔵庫、エアコン、テレビ)への買い替え



とっとりエコライフ!

【鳥取ブルーカーボンプロジェクト】 キックオフ

- ・ 7月18日 海の日、<とっとり海のごちそう祭>でキックオフ。「豊かな海の再生宣言」
- ・ 藻場再生に向けた、ムラサキウニの駆除・蓄養と活用
- ・ かにっこ館、青谷高校、山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館にウニ贈呈。 展示・学習に活用
- ・ アラメの移植。 平成23年度全国豊かな海づくり大会で皇后陛下からお手渡のアラメ・クロメ子孫の種苗を県内9地区に移植

【環境関連イベント】 7月7日

- ・ <こどもSDGs七夕セレモニー> とっとりSDGs子ども伝道師第1号任命!
- ・ <七夕県庁ライトダウン×星空観測会> 省エネライフの楽しみ方を提案